

2010年(平成22年)7月14日 水曜日

日刊不動産経済通信

◎ エスクローフ、住宅クラウド会員に融資

住宅ビルダー向けに、事業資金融資を行っているエスクローファイナンスは、クラウドコンピューティングによりCADやホームページ作成システムなどを工務店に提供する一般社団法人住宅クラウドコンソーシアム(加藤善也理事長)会員への建築事業資金出来高融資サービスを開始した。年間200件の利用を目標としている。

エスクローファイナンスは、施主と事業者が契約後、住宅の工事の進行に応じて、工事資金を融資する出来高融資サービスを行っている。施主が前払い金を支払う必要がなくなり、事業者が倒産した場合のリスクを軽減できる。住宅クラウドコンソーシアムは、三澤千代治・ミサワインターナショナル社長が理事長を務める一般財団法人住宅都市工学研究所が中心となり、今月1日に発足した。初年度は200社の会員登録を目指す。